



製造番号 TD322A-21-S1024~S1026

四運整車第 234 号
平成 27 年 5 月 20 日

東急車輛製造株式会社 殿
(大阪工場)

四国運輸局整備部長

試作
改造概要説明書

改造自動車等審査結果通知書

指示事項:

- (1) 当該通知書は製造番号 TD322A-21-S1024,S1025,S1026 のみに限る。
- (2) 保安基準緩和を受けること。
- (3) 保安基準緩和は設計値を超えぬこと。
- (4) 職権打刻を受けること。
- (5) けん引自動車
三菱 P-FV414JR 第5輪 18,000kg

主要諸元比較表 (改造 (試作) 組立)

届出者の氏名又は名称		東急車輛製造株式会社 (大阪工場)			種別用途		普通貨物		
項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準		
車両重量 kg		11030	—	車名		東急	—		
乗車定員人		—	—	型式		TD322A-21	—		
最大積載量 kg		32000	—	形状		セミトレーラ	—		
車両総重量 kg		43030	≤ 20 t	原動機の型式		—	—		
長さ m		11.990	()	総排気量 l		—	—		
幅 m		2.990	≤ 2.5	燃料の種類		第5輪から	—		
高さ m		1.680	≤ 3.8	軸距 m		9350+1200 = 10.550	—		
室内又は荷台の内側の寸法		6.300	—	最小回転半径 m		* 12.0	≤ 12		
長さ		2.990	—	オーバーハング		0.990	≤ 4.0 (特・特L)		
幅		2.990	—	ボデー後端まで		—	—		
高さ		—	—	荷台オフセット m		4.250	—		
空車時前荷重分布 kg		3770	—	タイヤ前		—	—		
後		3630	—	サイズ後		8.25R16-14 PR	—		
		3630	—			8.25R16-14 PR	—		
積車時前荷重分布 kg		17440	≤ 10 t	積車時前		—	—		
後		—	()	タイヤ		—	—		
		12795	≤ 10 t	荷重割合 %		81.8	≤ 100		
		12795	()	後		81.8	—		
積載時前輪荷重割合 %		—	≥ 18	最大安定	左	*	—		
		—	20	傾斜角度	右	55	一般 ≥ 35		
前		—	—			*	(30)		
後		2.430	—			55	—		
後		2.430	—			—	—		
制動力		踏力 — kg 35 km/h 9.2 m	—	車わく強度		$\frac{5000}{3200} \times \frac{240 \times 2.5}{1.35 \times 1.3} = 2.1$	≥ 1.6		
空気圧		7 kg/cm ²	—	車軸強度		$\frac{4900}{553 \times 2.5} = 3.5$	—		
推進軸		Nc/N= / =	—	操縦装置		" = / = "	—		
強度		σ _B /τ = / =	—	懸架装置		" = 7000/997 × 2.5 = 2.8 "	—		
等検討			—	制動装置		" = 4500/1276 = 3.5 "	—		
			—	連結装置		東急 TL 2555 型 トレーラ と 同一	—		

注1. 主要諸元比較表右肩 () 内の改造、試作、組立は該当するものを ○ で囲むこと。
注2. 能力強度等検討欄に必要としないものは、省略したものは × を記入すること。

三 要

注. ※印は P-FV414JR 型トラクターと連結時の計算値を示す

目的	当該車両は建設機械の安全輸送を計る為新たに製作したものである
車体	
軸距	重量配分の適正化を計るために第5輪から 9350 + 1200 = 10550mm とした
輪距	2430mm とした。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	主レール後部下面にトラニオンブラケットを取付けそれにトラニオン軸を通しその軸を中心にして上下に揺動するウォキングビームを取付け、その両端に取付けられた車軸にテーパローラベアリングをはめ合せて車輪のホイールを支える。
操縦装置	
制動装置	(主ブレーキ) 気圧・内部拡張式ブレーキシューアンカーピン形式 (駐車ブレーキ) フレームの側レールに取付けられた、ノブを押すと、スプリングブレーキが作動する。牽引車と分離した時、制動のか、る非常中継弁を取付けている。ブレーキ配管内の水及びゴミの蓄積防止の為エアフィルターを設ける。
懸架装置	ウォキングビーム方式 トラニオン軸を中心にして前後に揺動し、ウォキングビームのスピンドルを中心にして左右に揺動する構造である。
連結装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ (55 自車第 743 号新型自動車第 10999 号) と同一のものを使用している。 JIS-D-6602 に準じて製作してある
車わく	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガー及びクロスメンバーとは電気溶接で組まれており、前部の下面にキングピン、後部に車軸取付の装置を付けている。
その他	

(A列3番)

(社団法人 日本自動車車体工業会)

Y41414